

もも、すもも、うめ、さくら等を食い荒らし枯らす

クビアカ ツヤカミキリ 特別警戒中



体長: 2~4cm
つやのある黒色で
胸部が赤い

成虫発生時期:
5月下旬~8月中旬、
昼間に活動

クビアカツヤカミキリは「特定外来生物」に指定されているので、生きたまま運んだり、飼育することは禁止されています。

成虫はその場で踏みつぶすなどして駆除してください。

被害を拡大させないためには、早期発見と早期対策が重要!

■クビアカツヤカミキリの幼虫はおよそ2年間も樹の中にいます

■探す手がかりはフラス（幼虫のふんと木くずが混ざったもの）

幼虫の成長段階などにより様々なフラスが確認されます

幼虫初期：ミンチ状のフラスが樹の側面にぶら下がる

成長した幼虫：大量の細かい粉状のフラスが排出される

※うめでは、フラスが樹皮下に溜まって排出されにくい場合もある



株元に溜まったフラス



ミンチ状のフラス

被害状況（2026年2月現在）

和歌山県内では、2019年に初めて被害が確認されて以降（成虫は2017年に初確認）急速に被害が拡大し、紀北から紀中の18市町で確認されています。

国内では、2012年に愛知県で被害が初確認されて以降、16都府県で被害が確認されています。

和歌山県

<農地> 農林水産部 農業生産局 鳥獣害対策課
<森林> 農林水産部 森林林業局 森林整備課
<公園等> 環境生活部 環境政策局 自然環境課

TEL: 073-441-2905
TEL: 073-441-2981
TEL: 073-441-2779

クビアカ情報



クビアカツヤカミキリの特徴



若齢幼虫のフラス



枝の上部から排出したフラス



幼虫



♂

成虫

♀

◆産卵から2年で羽化する場合の生活環

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
成虫													
産卵													
幼虫	1年目						孵化						
	2年目												活動休止期
	3年目					蛹	羽化						

春になると幼虫は摂食を再開

樹木内で越冬

被害拡大防止対策

■早期発見

- ・早期発見の観点から定期的に巡視を行い、樹幹から排出されるフラスの有無等を確認

■予防対策

- ・産卵防止のために0.3mm目合いの白色ネットを包帯状に被覆

■成虫の防除 (5月下旬～8月)

- ・主に幹や枝を狙って登録のある農薬を散布
- ・見つけ次第、捕殺

■幼虫の防除 (通年、活動期は3月下旬～11月)

- ・針金等で、食入孔の中のフラスをかき出し、幼虫を刺殺し、スプレー缶型の農薬を噴射

■被害樹の伐採・抜根 (9月～翌年4月)

- ・伐採樹は破砕あるいは焼却処分
- ・成虫の飛散防止のため、成虫活動期 (5月下旬～8月) までに応急処置として、樹に4mm目合いのネットを2重に被覆 (被覆後は定期的に巡視を行い、成虫を捕殺)



産卵阻止のネット被覆

対策の実施にご協力をお願いします!

被害を見つけたら、すぐに通報を! 通報は、振興局、JA、役場へ

発見場所	通報先 (電話番号)			
	振興局	農地	森林	その他 (学校関係除く)
和歌山市、海南市、海草郡	海草	073-441-3378	073-441-3366	073-483-8825
紀の川市、岩出市	那賀	0736-61-0025	0736-61-0015	0736-61-0022
橋本市、伊都郡	伊都	0736-33-4930	0736-33-4910	0736-42-5443
有田市、有田郡	有田	0737-64-1273	0737-64-1263	0737-64-1293
御坊市、日高郡	日高	0738-24-2930	0738-24-2912	0738-24-3617
田辺市、西牟婁郡	西牟婁	0739-26-7941	0739-26-7911	0739-22-4115
新宮市、東牟婁郡	東牟婁	0735-21-9632	0735-21-9612	0735-21-9631
東牟婁郡のうち古座川町、串本町				串本支所 保健環境課

市町村立学校は、市町村所管課へ、私立学校は県庁文化学術課へ、県立学校は県教育委員会主管課へ通報